

教育研究データ			
1. 氏名	今 崎 浩		
2. 生年月	1962年11月5日		
3. 取得学位	修士(教育学)		
4. 教育業績			
教育上の能力に関する事項	年月	概要	
(1) 教育内容・方法の工夫	2015年4月 ～現在	① ICT(Glexa・Teams等)を活用して、双方向性のある授業、事前・事後学修の実施に取り組み、学生の主体的な学修を促している。	
	2015年4月 ～現在	② レポート、学習指導案、模擬授業等にルーブリックを用いた評価を取り入れることによって、学生に学修の見通しと到達度をつかませ、学修意欲を高めようとしている。	
(2) 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	2013年5月 ～現在	① 広島県内の各種指定校で指導・助言、講演を行っている。	
	2014年～ 2019年	② 呉市小中一貫教育推進コーディネーター研修会で講師を務めている。(毎年1回)	
	2017年～ 2019年	③ 「算数科教育法」「特別活動指導法」「生徒・進路指導論Ⅰ」が本学学生による授業評価アンケートにおいて高い評価をあげた授業として顕彰され、授業公開した。	
5. 研究業績			
(1) 著書	単著 共著 の別	発行の 年月	発行所
①わかる算数科指導法 改訂版	共著	2018. 3	東洋館出版
②新・教職課程演習 13巻初等算数科	共著	2021. 4	協同出版
(2) 学術論文	単著 共著 の別	発行の 年月	掲載紙および巻/号, 頁
①算数科教科書の図形領域にみられる記述の特徴－図形の性質を導くための根拠と論理に焦点を当てて－	単著	2002. 6	日本数学教育学会誌 2002 第84巻 第6号(pp, 2-10)
②広島文教女子大学におけるコモンルーブリック開発と実践的展開	共著	2016. 3	広島文教女子大学高等教育研究 第2号, pp. 25-42.
③算数科におけるジグソー学習法の実	共著	2017. 3	広島文教教育第31巻 2016, pp. 31-39

践化に向けて			
④算数科学習における数学史活用の 今日的意義と実践上の課題に関する 考察	単著	2020. 3	広島文教教育第 34 巻 2019, pp. 25-33
⑤算数科教科書に見られる「数学的な 見方・考え方」の記述の特徴	単著	2022. 3	広島文教教育第 36 巻 2021, pp. 1-9
(3) 研究・作品発表	発表の年月		発表学会等
①特別公開授業「ひらいたらどんなか たちになるかな」	2012 年 10 月		第 28 回小学校算数教育研究全国(広 島)大会
②「授業改善を促す小中連携・一貫教 育」	2015 年 9 月		広島県立教育センター
(4) 所属学会			
① 日本数学教育学会			
② 全国数学教育学会			
③ 日本生徒指導学会			
④ 日本特別活動学会			